

「リニア中央新幹線」に関する申し入れ 新聞に掲載される！

私たちは、6月30日会社に対し、「リニア中央新幹線」構想に関する申し入れ（『申第2号』）を行いました。その中で、経済性、技術的課題、自然環境への影響など事前検討が不十分であること。地域住民や沿線自治体などの理解、国民的合意を得ず一方的に推し進めていること。会社の主張する「リニア」の必要性（輸送力限界、大規模改修、時間短縮）が、現時点急務な課題であるのか疑問であること。そして、大規模改修などの必要性は「リニア中央新幹線」に固執しなくても、十分解決できる手段は他にもあること。さらに、3兆円の長期債務を抱え、その上建設費約6兆円もの借金を重ね自己資金で開業を目指すことで、社員の労働条件や経営に及ぼす影響などを考えると、「リニア中央新幹線」構想には、あまりにも多くの問題点があり過ぎることを指摘し、「リニア中央新幹線」構想には反対であり、計画の中止を申し入れたのです。

この申し入れに、マスコミが関心を示したということは、社会的にも「リニア中央新幹線」構想が「注目」を浴びているということであり、賛否が分かれていることの証左でもあります。私たちは、当該企業の労働組合として、社運をかけることになる「リニア中央新幹線」構想に対し見解を求めました。したがって、会社は、申し入れを真摯に受け止め、直ちに協議を行うべきです。

【7月3日・中日新聞朝刊】

★リニア中止申し入れ

JR東海が進めるリニア中央新幹線構想について、同社の労働組合の一つであるJR東海労働組合（本部・東京都大田区）は同社に計画を中止するよう書面で申し入れた。申し入れ書によると、全国新幹線鉄道整備法に基づく中央新幹線は「国の公共交通政策の中で検討されるべき課題」と指摘。構想自体が「経営陣の独断的で一方的な発表に終始している」としたうえで「国民的な理解と合意形成が得られておらず、十分な情報公開もされていない」と批判している。